

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2022年度)

| | | | | | | | | | | |
|----------------|---|---|----------------|------|-------------|----|---------|---------|----|----|
| 専門分野区分 | ヒューマンスキル | 科目名 | システム開発とリーダーシップ | | | | 科目コード | TL201A1 | | |
| 配当期 | 前期 | 授業実施形態 | 通常 | | | | 単位数 | 2 単位 | | |
| 担当教員名 | 廣本 寿夫 | 履修グループ | 2E(SP) | | | | 授業方法 | 講義 | | |
| 実務経験の内容 | <p><経歴> 大阪府立大学大学院工学研究科修了後、1987年富士通㈱に入社、経営管理者研修、グローバル人材教育、eラーニング、ホームページ企画・開発、ICT活用、新規ビジネス企画コンサルティング等を担当する。2002年、ICTを経営・ビジネスに活用することをミッションに、コンサルティング事業本部が設立されたのを機に、コンサルタント(富士通認定コンサルタント:FCP:経営分野)として、人材育成、e-Learning導入コンサルティングに加え、営業プロセスの「見える化」から営業改善、センサーネットワークを活用した新規ビジネス企画等を担当する。社内活動としては、コンサルタント育成、ナレッジマネジメント(映像ナレッジ)、特許創出WGの主査等を担当する。また、若手、グローバル・ビジネス人材の育成をすべく、2004年～2015年:青山学院大学経営学部にて新規ビジネスを企画・提案する講座等を担当する。2007年、「年齢と地域を越えた“教える”・“教えられる”の関係を構築する。」をビジョンに株式会社ワイドブックを設立する。</p> | | | | | | | | | |
| 学習一般目標 | <p>現在、企業や社会では、プロジェクトをチームで行う事は一般的になっています。皆さんの学習活動(システム開発をはじめ各種制作活動)の中でもその機会はあるでしょう。それらを成功へと導くためには、積極的に働きかけ、周囲を巻き込み、協力していくことが欠かせません。それは、即ち「ポジティブな影響力によるリーダーシップ」を発揮することだといえます。この授業では、「ポジティブな影響力によるリーダーシップ」を発揮できるよう、自分自身の行動を変えていくことをゴールとしています。</p> | | | | | | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | <p>この授業では、「ポジティブな影響力によるリーダーシップ」のエッセンスを、グループワークなどを通して、楽しく、わかり易く学びます。この「ポジティブな影響力によるリーダーシップ」は、誰にでも発揮することが可能です。自分自身の中にあるリーダーシップの要素を様々な学びの方法の中で見つけ、試行・実行してください。この授業では、「失敗」はありません。社会での活躍を目指して、積極的に参加してください。</p> | | | | | | | | | |
| 教科書および参考書 | 教科書:「チームを成功に導くリーダーシップ」(株)ワイドブック発行 | | | | | | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | 日本語で日常的な会話ができること。 やる気を持って、積極的に演習に参加してください。 | | | | | | | | | |
| 使用機器 | プロジェクターとスクリーンを使用します。 | | | | | | | | | |
| 使用ソフト | | | | | | | | | | |
| 学習到達目標 | 学部DP(番号表記) | 学生が到達すべき行動目標 | | | | | | | | |
| | 2 | ポジティブな影響力によるリーダーシップの重要性を理解できる。(授業・レポート) | | | | | | | | |
| | 2/4 | 授業内で身に付けたポジティブな影響力によるリーダーシップを、今後どのように向上させ、どう活かしていくかを文章によって表現することができる。(レポート) | | | | | | | | |
| | 2/3 | ポジティブな影響力によるリーダーシップを発揮するために、自分自身のおかれた状況を判断し、必要な行動は何かを考え、熱意を持って自ら行動を起こすことができる。 | | | | | | | | |
| | 3/4 | チームメンバーを巻き込み、元気にし、成功へと導くことの重要性を理解し、やる気にさせる話しかけの言葉・行動・態度を習得できる。 | | | | | | | | |
| 5 | ポジティブな影響力によるリーダーシップを発揮することを意識し、各回の授業・グループワークなどに積極的に取り組むことができる。 | | | | | | | | | |
| 達成度評 | 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 成果発表(口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 学部D | 1.知識・理解 | | | | | | | | |
| | | 2.思考・判断 | | 20 | 20 | | | | | 40 |
| | | 3.態度 | | 20 | | | | | | 20 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---------|----|----|--|--|--|-----|
| 価 | P | 4.技能・表現 | 20 | 10 | | | | 30 |
| | | 5.関心・意欲 | 10 | | | | | 10 |
| | | 総合評価割合 | 70 | 30 | | | | 100 |

評価の要点

| 評価方法 | 評価の実施方法と注意点 |
|-------------|---|
| 試験 | |
| 小テスト | 授業中に行うワークへの取り組み、授業の振り返り課題等の提出・内容によって評価します。総合計点数を70点分に案分します。 |
| レポート | 授業内容への理解度、記述の内容によって評価します。レポート記述のポイントはテキストに記載されています。(400字～2000字程度) 日本語の不自由な学生は、事前に相談してください。 |
| 成果発表(口頭・実技) | |
| 作品 | |
| ポートフォリオ | |
| その他 | 出席が50%を下回る場合は、積極的な取り組みの意思がないとみなし、不合格となる可能性があります。 |

授業明細表

| 授業回数 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|------|--|---------------------|---|
| 第1回 | <ul style="list-style-type: none"> ・シラバス・授業概要の説明・自己紹介 ・リーダーシップ発揮の第一歩 テキスト第1章「リーダーシップとは」 【目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・授業でのポイントを理解し、それをふまえてグループワークに参加することができる(各回共通) ・授業で取り扱う「リーダーシップ」の定義を理解し、それをふまえて授業のまとめに自身の考えを記述することができる | 講義 演習 フィードバック | 【提出課題】あり ユニパ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、次回以降の授業で課題の振り返りを実施する |
| 第2回 | テキスト第2章「リーダーシップはなぜ必要か」 【目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップがなぜ必要とされているのかを理解し、具体例を挙げて説明することができる ・自分自身のリーダーシップ度を捉えて自己評価することができる | 講義 演習 フィードバック | 【提出課題】あり ユニパ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、次回以降の授業で課題の振り返りを実施する |
| 第3回 | テキスト第3章「リーダーとリーダーシップ」 【目標】 <ul style="list-style-type: none"> ・素晴らしいリーダーの要素から、リーダーシップを捉え、表現することができる ・リーダーとリーダーシップという2つのものの違いを自分の言葉やイメージで説明することができる | 講義 演習 フィードバック | 【予習課題】あり テキストP.20の課題を自分なりに考え書いてくる(第2回授業内で説明) 【提出課題】あり ユニパ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、次回以降の授業で課題の振り返りを実施する |

| | | | |
|-------------|--|------------------------------|---|
| <p>第4回</p> | <p>テキスト第4章「チームとは？チームビルディング」</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループとチームの違いを理解し説明することができる ・ここまでで学んだリーダーシップの要素をふまえてチームビルディングに取り組むことができる | <p>講義 演習 フィードバック</p> | <p>【提出課題】あり ユニパ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、次回以降の授業で課題の振り返りを実施する</p> |
| <p>第5回</p> | <p>テキスト第5章「様々なリーダーシップが存在する」</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・様々なリーダーシップの発揮方法が存在することを理解し、それぞれの違いについて表現することができる ・授業の内容をふまえて自分自身の価値観にあったリーダーシップを見出し、それについて説明することができる | <p>講義 演習 フィードバック</p> | <p>【提出課題】あり ユニパ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、次回以降の授業で課題の振り返りを実施する</p> |
| <p>第6回</p> | <p>テキスト第6章「リーダーシップの特徴」</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この授業で学ぶリーダーシップの特徴「誰もがリーダーシップを発揮できる」ことを理解し、どのようにすればリーダーシップの発揮につながるのかを考え、記述することができる | <p>講義 演習 フィードバック</p> | <p>【提出課題】あり ユニパ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、次回以降の授業で課題の振り返りを実施する</p> |
| <p>第7回</p> | <p>テキスト第7章「変化するリーダーシップ」</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップの形が変化してきたことを理解し、これからの時代のリーダーシップの要素について考えることができる <p>テキスト第8章「リーダーシップの実践：VSOPモデル①：ビジョン(V: vision)」</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンの必要性を説明することができる ・リーダーシップを発揮するための、ビジョンを見つけるヒントをつかむことができる <p>テキスト第9章「リーダーシップの実践：VSOPモデル②：戦略(S: strategy)」</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビジョンを達成するための戦略の立て方を理解することができる | <p>講義 演習 フィードバック</p> | <p>【予習課題】あり テキストP.58,59を可能な限り多く書いてくる</p> <p>【提出課題】あり ユニパ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、次回以降の授業で課題の振り返りを実施する</p> |
| <p>第8回</p> | <p>テキスト第10章「リーダーシップの実践：VSOPモデル③：共有(O: Objective Sharing)」 -前半(コミュニケーション)</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通して、ビジョンの示す目標を共有するための方法を理解し、実践することができる | <p>講義 演習 フィードバック</p> | <p>【提出課題】あり ユニパ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、次回以降の授業で課題の振り返りを実施する</p> |
| <p>第9回</p> | <p>テキスト第10章「リーダーシップの実践：VSOPモデル③：共有(O: Objective Sharing)」 -後半(タイプ別コミュニケーション)</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通して、ビジョンの示す目標を共有するための方法を理解し、実践することができる | <p>講義 演習 フィードバック</p> | <p>【提出課題】あり ユニパ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、次回以降の授業で課題の振り返りを実施する</p> |
| <p>第10回</p> | <p>テキスト第11章「リーダーシップの実践：VSOPモデル④：成功への熱意(P: passion)」</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・演習を通して、ビジョンの実現、成功するために必要な熱意はどのようなものかを理解し、実践することができる | <p>講義 演習 フィードバック</p> | <p>【提出課題】あり ユニパ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、次回以降の授業で課題の振り返りを実施する</p> |

| | | | |
|-------------|--|--|---|
| <p>第11回</p> | <p>テキスト第12章「リーダーシップを発揮してチームメンバーを育てる」前半(コーチング・ティーチング)</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームメンバーの育成方法を理解し、育成プランを考えることができる | <p>講義 演習 フィードバック</p> | <p>【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、次回以降の授業で課題の振り返りを実施する</p> |
| <p>第12回</p> | <p>テキスト第12章「リーダーシップを発揮してチームメンバーを育てる」後半(タイプ別育成方法)</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームメンバーの育成方法を理解し、育成プランを考えることができる | <p>講義 演習 フィードバック</p> | <p>【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題の返却はしないが、次回以降の授業で課題の振り返りを実施する</p> |
| <p>第13回</p> | <p>テキスト第14章「総括・振り返り・レポート記述」</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの授業を振り返り、自身のリーダーシップについて考えをまとめることができる ・レポート記述のポイントに沿ってレポートを記述することができる | <p>講義 フィードバック レポート提出</p> | <p>【予習課題】あり 事前にレポートの内容を考えておくことが望ましい</p> |
| <p>第14回</p> | <p>◇課題解決型授業1</p> <p>テキスト第9章「リーダーシップの実践:VSOPモデル②:戦略(S: strategy)」演習</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンデマンド形式による個人演習を通して、リーダーシップを発揮し、ビジョンを達成するための戦略の立て方を理解し、実践することができる <p>※授業内容の詳細はユニバ[授業資料第14回]に提示</p> | <p>遠隔授業(オンデマンド形式) 実施時期:2期(6/1~6/15) ※動画を視聴しながら個人演習を進める</p> | <p>【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題が複数枚にわたる場合もあるので、提出の際は注意すること ※課題の返却はしない</p> |
| <p>第15回</p> | <p>◇課題解決型授業2</p> <p>テキスト第13章「リーダーシップ総合演習」</p> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今までに学んできたことを基に、各自が自分に合った方法でリーダーシップを発揮することができる ・これまでの授業を振り返り、自身のリーダーシップについて考えることができる <p>※授業内容の詳細はユニバ[授業資料第15回]に提示</p> | <p>遠隔授業(オンデマンド形式) 実施時期:4期(7/1~7/15) ※動画を視聴しながら個人演習を進める</p> | <p>【提出課題】あり ユニバ[授業資料]に提示 (googleフォーム使用) ※課題が複数枚にわたる場合もあるので、提出の際は注意すること ※課題の返却はしない</p> |